

1. こんにちは。にほんご きょうし 日本語 教師のまみです。

안녕하세요. 일본어 교사 마미입니다.

2. きょう いちにち 今日も一日,おつかれさまでした。

오늘 하루도 수고 많으셨어요.

3. とつぜん みな なつ き 突然ですが,皆さんは"夏"と聞くと,どんな景色を思い浮かべますか?

갑작스럽지만, 여러분은 "여름"이라고 하면 어떤 풍경이 떠오르시나요?

4. あお うみ しろ すなはま 青い海でしょうか。白い砂浜でしょうか。

푸른 바다일까요. 하얀 백사장일까요.

5. それとも,まつ はなび それとも,お祭りや花火でしょうか。

아니면 축제나 불꽃놀이일까요.

6. わたし なつ おきなわ おも だ 私は,夏になるといつも沖縄のことを思い出します。

저는 여름이 되면 항상 오키나와가 떠올라요.

7. うつく しぜん ほんしゅう すこ ちが れきし ぶんか のこ みりよくてき 美しい自然だけでなく,本州とは少し違う歴史や文化が残る,とても魅力的な場所です。

아름다운 자연뿐만 아니라, 혼슈와는 조금 다른 역사와 문화가 남아 있는, 정말 매력적인 곳이에요.

8. きょう おきなわ ぶんか しぜん 今日のテーマは,"沖縄の文化と自然"です。

오늘의 주제는 "오키나와의 문화와 자연"입니다.

9. みな いっしょ おきなわ たび きも き 皆さんも一緒に,沖縄を旅するような気持ちで聞いてみてください。

여러분도 함께, 오키나와를 여행하는 기분으로 들어봐 주세요.

10. おきなわ にほん いちばんみなみ けん 沖縄は,日本の一番 南にある県です。

오키나와는 일본에서 가장 남쪽에 있는 현이에요.

11. しま あつ かず いじょう たくさんの島が集まってできていて,その数は,なんと150以上もあります。

수많은 섬들이 모여서 이루어져 있는데, 그 수가 무려 150개가 넘어요.

12. とうきょう ひこうき じかん 東京から飛行機で,だいたい3時間ぐらいかかります。

도쿄에서 비행기로 대략 3시간 정도 걸려요.

13. ^{じつ} 実際は, ^{とうきょう} 東京 から ^{おきなわ} 沖縄 までの距離と, ^{きょり} ソウルから ^{おきなわ} 沖縄 までの距離は, ^か あまり変わらないんですよ。

사실 도쿄에서 오키나와까지의 거리와, 서울에서 오키나와까지의 거리는 별로 차이가 나지 않아요.

14. ^{おきなわ} だから ^{かんこく} 沖縄 は, ^{ちか} 韓国 から, ^{ばしょ} わりと近い場所なんですね。

그래서 오키나와는 한국에서도 꽤 가까운 곳입니다.

15. ^{さいしょ} さて, ^{おきなわ} まず ^{れきし} 最初に, ^{はなし} 沖縄 の歴史の話をしたいと思います。 ^{おも} これが, ^{おもしろ} すごく面白いんですよ。

자, 먼저 오키나와의 역사 이야기를 해볼까 해요. 이게 정말 흥미롭거든요.

16. ^{じつ} 実際は, ^{おきなわ} 沖縄 は, ^{むかし} 昔 から ^{にほん} 日本 だったわけではありません。

사실 오키나와는 예로부터 일본이었던 건 아니에요.

17. ^{いま} 今から500年ぐらい前, ^{ねん} 沖縄 には, ^{まえ} " ^{おきなわ} 琉球 ^{りゅうきゅうおうこく} 王国 " ^{どくりつ} という, ^{くに} 独立した国がありました。

지금으로부터 500년쯤 전, 오키나와에는 "류큐 왕국"이라는 독립된 나라가 있었어요.

18. ^{りゅうきゅう} " 琉球 " ^{むかし} というのは, ^{おきなわ} 昔 の ^よ 沖縄 の ^{かた} 呼び方です。

"류큐"라는 건 옛날 오키나와를 부르던 이름이에요.

19. ^{おきなわ} つまり, ^{にほん} 沖縄 には, ^{べつ} 日本 とは別の, ^{ひと} 一つの ^{くに} 国があったということですね。

즉, 오키나와에는 일본과는 별개의 나라가 하나 있었다는 거죠.

20. ^{りゅうきゅうおうこく} 琉球 ^{ちゅうごく} 王国 は, ^{にほん} 中国 や, ^{とうなん} 日本 や, ^{くにぐに} 東南アジアの ^{ほうえき} 国々と, ^{さかん} 積極的に ^{しょうぎ} 貿易 をしてました。

류큐 왕국은 중국이나 일본, 동남아시아 나라들과 활발하게 무역을 했어요.

21. ^{ほうえき} " 貿易 " ^{くに} というのは, ^{くに} 国と国とで, ^{しなもの} 品物 を ^う 売ったり ^か 買ったりすることです。

"무역"이라는 건 나라와 나라 사이에서 물건을 사고파는 걸 말해요.

22. ^{うみ} 海に ^{かこ} 囲まれた ^{しま} 島だからこそ, ^{ふね} 船を ^{つか} 使って, ^{くに} いろいろな国とつながっていたんですね。

바다로 둘러싸인 섬이었기 때문에, 배를 이용해서 여러 나라와 이어져 있었던 거예요.

23. ^{おきなわ} だから ^{ぶんか} 沖縄 の文化には, ^{にほん} 日本 だけではなくて, ^{ちゅうごく} 中国 や ^{とうなん} 東南アジアの ^{えいきょう} 影響 も, ^{はい} たくさん入っています。

그래서 오키나와 문화에는 일본뿐만 아니라 중국이나 동남아시아의 영향도 많이 담겨 있어요.

24. ^{おきなわ} これが, ^{おきなわ} 沖縄 を, ^{どくとく} とても ^{ばしょ} 独特な場所 ^{ばしょ} しているんです。

이런 점이 오키나와를 아주 독특한 곳으로 만들어주고 있죠.

25. たとえば、^{みな}皆さんは、"^みシーサー"を見たことがありますか？

예를 들어, 여러분은 "시사"를 본 적이 있으신가요?

26. シーサーというのは、ライオンに^に似た、不思議な顔をした^{ふしぎ}置き物^{かお}です。^お^{もの}

시사라는 건 사자를 닮은, 신비로운 얼굴을 한 장식물이에요.

27. ^{おきなわ} ^{いえ} ^{やね} ^{うえ} ^{もん} ^お
沖縄の家の屋根の上や、門のところに、よく置いてあります。

오키나와 집의 지붕 위나 대문 쪽에 자주 놓여 있어요.

28. ^{わる} ^{いえ} ^{はい} ^{まも} ^{まも}
これは、悪いものが家に入^いってこないように、守^{まも}ってくれる、お守^{まも}りのようなものなん
です。

이건 나쁜 것이 집 안으로 들어오지 못하도록 지켜주는, 부적 같은 존재예요.

29. ^{じつ} ^と ^お ^{ちゅうごく} ^{けいゆ} ^{そう}
実は、このシーサー、もとをたどると、エジプトやインドのライオンの像^{ぞう}が、シルクロ
ードを^と通^おって、中国^{ちゅうごく}を^{けい}経^ゆ由^ゆして、

사실 이 시사는, 근원을 거슬러 올라가면 이집트나 인도의 사자상이 실크로드를 지나 중국을

30. ^{おきなわ} ^{つた} ^い
沖縄まで伝^{つた}わ^いって^いきた、と^い言^いわ^いれて^いま^いす。

거쳐 오키나와까지 전해졌다고 해요.

31. ^と ^と ^お ^{ばしよ} ^{なが} ^{じかん} ^{ちい} ^{しま} ^{たび}
遠^とい^と遠^おい^ば場所^{しよ}から、長^{なが}い^じ時^{かん}間^んを^ちか^いけて、小^{ちい}さ^{しま}な^{たび}島^{しま}ま^{たび}で^{たび}旅^{たび}を^{たび}し^{たび}て^{たび}き^{たび}た^{たび}ん^{たび}です^{たび}。

아주 먼 곳에서, 긴 시간을 들여 작은 섬까지 여행해 온 셈이죠.

32. ^{かんが} ^{かん}
そう考^{かんが}え^{かん}ると、ち^{かん}ょ^{かん}っ^{かん}と^{かん}口^{かん}マ^{かん}ン^{かん}を^{かん}感^{かん}じ^{かん}ま^{かん}せ^{かん}ん^{かん}か^{かん}？

그렇게 생각하면, 조금 낭만적이지 않나요?

33. ^{わたし} ^{はじ} ^{はなし} ^き ^{かんどう} ^{つぎ} ^{おんがく} ^{はなし}
私^{わたし}は^は初^はめ^じて^はこ^はの^は話^わを^は聞^きいた^きと^きき、す^{かん}ぐ^{かん}く^{かん}感^{かん}動^{かん}し^{かん}ま^{かん}し^{かん}た^{かん}。次^{つぎ}は、音^{おん}楽^{がく}の^は話^はです。

저는 처음 이 이야기를 들었을 때 정말 감동했어요. 다음은 음악 이야기예요.

34. ^{おきなわ} ^{さんしん} ^{がっき} ^よ
沖縄^{おきなわ}には、"^{さんしん}三^が線^き"という^が楽^き器^きが^きあ^きり^きま^きす。^よ"さん^よしん^よ"と^よ読^よみ^よま^よす。

오키나와에는 "산신"이라는 악기가 있어요. "산신"이라고 읽어요.

35. ^{さんほん} ^{げん} ^は ^{ちい} ^{がっき}
三^{さん}本^{ほん}の^{げん}弦^はが^{ちい}張^がっ^がて^があ^がる^が、小^{ちい}さ^がな^がギ^がタ^がー^がの^がよ^がう^がな^が楽^が器^がです。

줄이 세 개 매어져 있는, 작은 기타 같은 악기예요.

36. ^{さんしん} ^{ねいろ} ^き ^{ふしぎ} ^{みなみ} ^{しま} ^{けしき} ^{あたま} ^う
この^{さん}三^{しん}線^ねの^{いろ}音^き色^きを^ふ聞^{しぎ}くと、不^{みな}思^み議^なと、南^{しま}の^け島^{しき}の^あ景^{たま}色^うが、頭^あに^う浮^うか^うん^うで^うく^うる^うん^うです^うよ。

이 산신의 음색을 들으면, 신기하게도 남쪽 섬의 풍경이 머릿속에 떠올라요.

37. ^{すこ} ^{がな} ^{おと}
ポ^すロ^こン^が,ポ^がロ^なン^おという、あ^おた^おた^おか^おくて、少^すし^こも^がの^お悲^おしい^お音^おが^おし^おま^おす。

뽕뽕하는, 따뜻하면서도 조금 애잔한 소리가 나요.

38. ^{おきなわ}そして、^{まつ}沖縄 ^{おど}といえ、^{ゆうめい}"エイサー" ^{おど}というお祭りの踊りも有名です。

그리고 오키나와 하면, "에이사"라는 축제 춤도 유명해요.

39. ^{おお}大きな ^{たいこ}太鼓 ^{ちからづよ}をたたきながら、^{おど}力強く、^{おど}にぎやかに踊ります。

큰 북을 치면서 힘차고 흥겹게 춤을 춥요.

40. ^{せんぞさま}これは、^{むか}もともと、^{たいせつ}ご先祖様 ^{おど}を迎えるための、^{おど}大切な踊りでした。

이건 원래 조상님을 맞이하기 위한 소중한 춤이었어요.

41. ^{せんぞさま}"ご先祖様" ^{じぶん}というのは、^{まえ}自分よりも ^{じだい}前の時代 ^いに生きていた、^{かぞく}家族のことですね。

"조상님"이라는 건 자신보다 앞선 시대를 살았던 가족을 말하는 거죠.

42. ^{かんこく}韓国 ^{せんぞさま}にも、^{たいせつ}ご先祖様 ^{ぶんか}を大切に ^{ぶんか}する文化 ^{ぶんか}がありますよね。

한국에도 조상님을 소중히 여기는 문화가 있잖아요.

43. ^{にほん}そういうところは、^{ほんど}日本の本土 ^{おきなわ}よりも、^{かんこく}沖縄 ^{ちか}のほうが、^{かんこく}韓国 ^{ちか}に近いのかもしません。

그런 부분은 일본 본토보다 오키나와가 한국과 더 가까울지도 몰라요.

44. ^たさて、^{もの}ここで、^{はなし}食べ物 ^{はなし}の話 ^{はなし}をしないわけにはいきません。

자, 여기서 음식 이야기를 안 할 수가 없죠.

45. ^{おきなわ}沖縄 ^{りょうり}の料理 ^{ほんとう}は、^{ほんとう}本当 ^{ほんとう}に美味しいんです。まず、^{ゆうめい}有名 ^{ゆうめい}なのが、^{ゆうめい}"ゴーヤチャンプルー" ^{ゆうめい}です。

오키나와 요리는 정말 맛있거든요. 먼저 유명한 게 "고야참프루"예요.

46. ^{ひょうめん}"ゴーヤ" ^{みどりいろ}というのは、^{やさい}表面 ^{みどりいろ}がでこぼこした、^{やさい}緑色 ^{やさい}の野菜 ^{やさい}です。

"고야"라는 건 표면이 울퉁불퉁한 초록색 채소예요.

47. ^{にが}にが ^{あじ}味が ^{あじ}するので、^{にほんご}日本語 ^いでは、^い"にがうり" ^いとも言います。

쓴맛이 나서 일본어로는 "니가우리(쓴 오이)"라고도 해요.

48. ^{おきなわ}"チャンプルー" ^{ことば}というのは、^{ことば}沖縄 ^{ことば}の言葉 ^まで、^ま"いろいろなものを混ぜる" ^{いみ}という意味 ^{いみ}です。

"참프루"라는 건 오키나와 말로 "여러 가지를 섞는다"는 뜻이에요.

49. ^{たまご}ゴーヤ ^{とうふ}と、^{にく}卵 ^{にく}と、^{いた}豆腐 ^{りょうり}と、^{りょうり}お肉 ^{りょうり}を、^{りょうり}いっしょ ^{りょうり}に炒めた料理 ^{りょうり}ですね。

고야와 달걀, 두부, 고기를 함께 볶은 요리예요.

50. ^{さいしょ}最初はその^{にが}苦さに、^{ひと}びっくりする人もいます。
처음에는 그 쓴맛에 깜짝 놀라는 사람도 있어요.
51. ^たでも、食べているうちに、だんだんクセになるんですよ。
하지만 먹다 보면 점점 중독되듯 빠져들게 돼요.
52. ^{おきなわ}それから、"沖縄 そば" ^{はず}も外せません。
그리고 "오키나와 소바"도 빼놓을 수 없어요.
53. ^いそばと言っても、^{にほん}日本の^{ほんど}本土のそばとは、^{ちが}ぜんぜん違います。
소바라고 해도 일본 본토의 소바와는 전혀 달라요.
54. ^{いろ}色は^{すこ}少し^{ちゃいろ}茶色くて、うどんのように、^{ふと}もちもちした^{めん}太い麺です。
색깔은 조금 갈색을 띠고, 우동처럼 쫄깃한 굵은 면이에요.
55. ^{いっしょ}あたたかいスープと一緒に^た食べると、^{からだ}体に、しみわたります。
따뜻한 국물과 함께 먹으면 몸속까지 스며드는 느낌이에요.
56. ^{みやげ}そして、お土産で^{にんき}人気なのが、"ちんすこう" ^{がし}というお菓子です。
그리고 기념품으로 인기 있는 게 "친스코"라는 과자예요.
57. ^{こむぎこ}小麦粉と、^{さとう}砂糖と、^{ぶた}ラードという、^{あぶら}豚の^{つく}油で作る、^やサクサクした^{がし}焼き菓子です。
밀가루와 설탕, 그리고 라드라는 돼지기름으로 만드는, 바삭바삭한 구움과자예요.
58. ^{そぼく}素朴で、^{やさ}優しい^{あま}甘さで、^{ちゃ}お茶と^あとてもよく合います。
소박하고 은은한 단맛이라, 차와 아주 잘 어울려요.
59. ^{みな}皆さんは、^{なか}この中で、^た食べてみたいものがありましたか？
여러분은 이 중에서 먹어보고 싶은 게 있으셨나요?
60. ^{わたし}私は、^{おきなわ}やっぱり、^{いちばん}沖縄そばが^す一番好きですね。
저는 역시 오키나와 소바를 제일 좋아해요.
61. ^{ぶんか}さて、文化の話の^{はなし}あとは、^{おきなわ}沖縄の^{しぜん}自然の^{はなし}話です。
자, 문화 이야기 다음은 오키나와의 자연 이야기예요.
62. ^{おきなわ}沖縄の^{みりょく}魅力は、^{うつく}なんといっても、^{うみ}その美しい海です。
오키나와의 매력은 뭐니 뭐니 해도 그 아름다운 바다예요.
63. ^{おきなわ}沖縄の^{うみ}海は、^{ほんとう}本当に、^{ほんとう}本当に、^{あお}青いんです。
오키나와 바다는 정말, 정말로 파래요.

64. "エメラルドグリーン"という言葉が、ぴったりの色です。

"에메랄드그린"이라는 말이 딱 어울리는 색이에요.

65. 底が見えるぐらい、水がすき通っています。

바닥이 보일 정도로 물이 맑고 투명해요.

66. どうして、こんなに、きれいなのでしょうか？ それは、"サンゴ礁"があるからです。

어째서 이렇게 깨끗한 걸까요? 그건 "산호초"가 있기 때문이에요.

67. "サンゴ"というのは、海の中にすんでいる、小さな生き物の集まりです。

"산호"라는 건 바닷속에 사는 작은 생물들의 집합체예요.

68. このサンゴが、海の水をきれいにしてくれて、たくさんの魚のすみかにも、なっているんですね。

이 산호가 바닷물을 깨끗하게 해주고, 수많은 물고기들의 서식지도 되어주고 있어요.

69. 沖縄の海にもぐると、カラフルな魚たちが、目の前を泳いでいきます。

오키나와 바다에 들어가면,形形色색의 물고기들이 눈앞을 헤엄쳐 다녀요.

70. まるで、水族館の中に、入ったような気分になりますよ。

마치 수족관 안에 들어간 듯한 기분이 들어요.

71. それから、沖縄は、"亜熱帯"という気候です。

그리고 오키나와는 "아열대"라는 기후예요.

72. "亜熱帯"というのは、一年を通して、あたたかい気候のことです。

"아열대"라는 건 일 년 내내 따뜻한 기후를 말해요.

73. 冬でも、あまり寒くなりません。雪は、ほとんど降りません。

겨울에도 별로 춥지 않아요. 눈은 거의 내리지 않아요.

74. だから、沖縄には、本土では見られない、めずらしい植物がたくさんあります。

그래서 오키나와에는 본토에서는 볼 수 없는 진귀한 식물들이 많이 있어요.

75. たとえば、"マングローブ"という森です。

예를 들면 "맹그로브"라는 숲이에요.

76. マングローブというのは、海の水と、川の水が、混ざり合う場所に生える、不思議な木の林のことです。

맹그로브라는 건 바닷물과 강물이 서로 섞이는 곳에서 자라는, 신비로운 나무숲을 말해요.

77. ^ねその根っことは, ^{あし}タコの足の^{みず}ように, ^{うえ}水の上^でに出ています。

그 뿌리는 문어 다리처럼 물 위로 드러나 있어요.

78. ^のカヌーに乗って, ^{なか}そのマングローブの中^{すす}を進む^{たいけん}体験^{にんき}は, とても人気がありますよ。

카누를 타고 그 맹그로브 숲속을 나아가는 체험이 아주 인기가 많아요.

79. ^{ひと}そして, もう一つ, ^{おもしろ}面白い^{はなし}話を^{じつ}します。 ^{おきなわ}実は, ^{むかし}沖縄^{ちょうじゅ}は, ^{しま}昔から"長寿^{ゆうめい}の島"として, 有名^{ゆうめい}でした。

그리고 하나 더, 흥미로운 이야기를 해볼게요. 사실 오키나와는 예로부터 "장수의 섬"으로 유명했어요.

80. ^{ちょうじゅ}"長寿" ^{ながい}というのは, 長生き^{ながいき}すること, ですね。

"장수"라는 건 오래 사는 것을 말하죠.

81. ^{おじいちゃん}おじいちゃんや, ^{おばあちゃん}おばあちゃんが, ^{げんき}とても元気で, ^{なが}長く^い生きる^{ひと}人が多い^{おお}んです。

할아버지, 할머니들이 아주 건강하게 오래 사는 경우가 많아요.

82. ^{ひみつ}その秘密^いは, ^いいろいろある^{ひと}と言われ^たています。 ^{もの}一つは, 食べ物^{たべもの}です。

그 비결은 여러 가지가 있다고 해요. 그중 하나는 음식이에요.

83. ^{しょうかい}さっき 紹介^{しんせん}した^{うみ}ゴーヤ^{さち}や, ^{からだ}新鮮な海^たの幸^たなど, 体^{からだ}にいいものを, ^たたくさん^た食べてい^たる^たんです^たね。

아까 소개한 고야나 신선한 해산물처럼, 몸에 좋은 음식을 많이 먹고 있는 거예요.

84. ^{ひと}そしてもう一つ^{おきなわ}は, "ゆいまーる" ^{かんが}という, ^{かた}沖縄^{かんが}의 ^{かた}考^{かんが}え^{かた}方^{かた}です。

그리고 또 하나는, "유이마루"라는 오키나와의 사고방식이에요.

85. "ゆいまーる" ^{たす}というのは, ^あみんなで^{いみ}助け^{ことば}合う, ^{ことば}という^{ことば}意味^{ことば}의^{ことば}言^{ことば}葉^{ことば}です。

"유이마루"라는 건 다 함께 서로 돕는다는 뜻의 말이에요.

86. ^{こま}困^{ひと}っている^{ちいき}人が^{ささ}いたら, ^あ地域^{ささ}の^あみんな^あで^あ支^あえ^あ合^あいます。

어려움을 겪는 사람이 있으면, 지역 사람들이 다 같이 서로 도와줘요.

87. ^{こころ}そういう^{けんこう}あたたか^{けんこう}い^{けんこう}つな^{けんこう}がり^{けんこう}が, ^{けんこう}心^{けんこう}の^{けんこう}健^{けんこう}康^{けんこう}に^{けんこう}も, ^{けんこう}つな^{けんこう}が^{けんこう}っ^{けんこう}て^{けんこう}い^{けんこう}る^{けんこう}の^{けんこう}か^{けんこう}も^{けんこう}し^{けんこう}れ^{けんこう}ま^{けんこう}せ^{けんこう}ん^{けんこう}ね。

그런 따뜻한 유대감이 마음의 건강으로도 이어지는 건지도 모르겠네요.

88. ^{わたし}私^{ことば}は, ^{だいす}この"ゆいまーる" ^{だいす}という^{だいす}言^{だいす}葉^{だいす}が, ^{だいす}大^{だいす}好^{だいす}き^{だいす}です。

저는 이 "유이마루"라는 말을 정말 좋아해요.

89. ^きなんだか, ^{こころ}聞いているだけで, ^{こころ}心がほっとしませんか?
왠지 듣기만 해도 마음이 편안해지지 않나요?
90. ^{おきなわ}それから, ^{おもしろ}沖縄には, ^{ことば}面白い言葉が, ^{おもしろ}ほかにもたくさんあります.
그리고 오키나와에는 재미있는 말이 그 밖에도 많이 있어요.
91. ^{ことば}たとえば, "なんくるないさー" ^{ことば}という言葉です.
예를 들면 "난쿠루나이사"라는 말이에요.
92. ^{しんぱい}これは, "なんとかなるよ"とか, ^{だいじょうぶ}"心配しなくても大丈夫" ^{いみ}という意味です.
이건 "어떻게든 될 거야"라든가 "걱정하지 않아도 괜찮아"라는 뜻이에요.
93. ^{まえ}つらいことがあっても, ^むくよくよしないで, ^{まえ}前を向いていきましょう。
힘든 일이 있어도 끄끄 앞지 말고 앞을 보고 나아가자는 거죠.
94. ^{きも}そういう, ^{ことば}おおらかな気持ち ^{ことば}が, ^{ことば}こもった言葉 ^{ことば}なんですね。
그런 여유롭고 넉넉한 마음이 담긴 말이에요.
95. ^{まいにち}せわしくしないで, ^すゆったりと ^{まいにち}毎日 ^すを過ごします。
조급해하지 않고 느긋하게 매일을 보내요.
96. ^いそういう ^{かた}生き方も, ^{ながい}長生き ^{ひけつ}の秘訣 ^{ひと}の一つ, ^いなの ^{かた}かもしれない ^いません。
그런 삶의 방식도 장수의 비결 중 하나일지 몰라요.
97. ^{わたし}私も, ^{こころ}しんどい ^{なか}ときには, ^{こころ}心 ^{なか}の中で, "なんくるないさー" ^{こころ}と, ^{こころ}つぶやく ^{こころ}ように ^{こころ}してい ^{こころ}ます。
저도 힘들 때는 마음속으로 "난쿠루나이사"라고 되뇌곤 해요.
98. ^{すこ}そうすると, ^{きも}少し ^{かる}だけ, ^{きも}気持ち ^{かる}が ^{かる}軽 ^{かる}くなる ^{かる}ん ^{かる}です ^{かる}よ。
그렇게 하면 마음이 조금은 가벼워지더라고요.
99. ^{みな}皆さん ^{つか}も, ^{つか}よ ^{つか}かった ^{つか}ら, ^{つか}つか ^{つか}って ^{つか}みて ^{つか}くだ ^{つか}さい ^{つか}ね。 ^{つか}はい。
여러분도 괜찮으시다면 한번 써보세요. 네,
100. ^{きょう}今日 ^{はなし}のお話 ^{おも}は, ^{おも}この ^{おも}あたり ^{おも}に ^{おも}したい ^{おも}と思 ^{おも}います。
오늘 이야기는 이쯤에서 마무리할까 해요.
101. ^{りゅうきゅうおうこく}琉球 ^{れきし}王国 ^{あお}の ^{うみ}歴史 ^{ちようじゅ}から, ^{ひみつ}青 ^{おきなわ}い ^{せかい}海 ^{たの}, ^{たの}そして ^{たの}長 ^{たの}寿 ^{たの}の ^{たの}秘 ^{たの}密 ^{たの}ま ^{たの}で, ^{たの}沖 ^{たの}縄 ^{たの}の ^{たの}世 ^{たの}界 ^{たの}を, ^{たの}楽 ^{たの}し ^{たの}ん ^{たの}で ^{たの}も ^{たの}ら ^{たの}え ^{たの}ま ^{たの}し ^{たの}た ^{たの}か ^{たの}？
류큐 왕국의 역사부터 푸른 바다, 그리고 장수의 비밀까지, 오키나와의 세계를 즐겁게 만나보셨나요?

102. おきなわ おな にほん なか ほんど ちが ぶんか も とくべつ
沖縄は、同じ日本の中にありながら、本土とは、まったく違う文化を持つ、特別な
ばしょ
場所です。

오키나와는 같은 일본 안에 있으면서도, 본토와는 전혀 다른 문화를 가진 특별한 곳이에요.

103. にほん い きかい いちど おきなわ あし
もし、これから日本へ行く機会があれば、ぜひ一度、沖縄まで足をのばしてみてください。
さい。

혹시 앞으로 일본에 갈 기회가 있다면, 꼭 한번 오키나와까지 발걸음을 옮겨보세요.

104. わす けしき であ おも
きっと、忘れられない景色に出会えると思いますよ。

분명 잊지 못할 풍경을 만나게 될 거예요.

105. きょう さいご き
今日も最後まで聞いてくれて、ありがとうございました。

오늘도 끝까지 들어주셔서 감사했습니다.

106. じかい あ
また次回、ここで会いしましょう。 それでは、また。

다음에 또 여기서 만나요. 그럼, 또 만나요.
